松本協立病院と地域をつなぐ広報誌

いつでも どこでも だれもが
安心してかかれる医療を
めざします

+Plus プラス

2022 夏号 35

特集

通院が難しい方に「訪問診療」という選択肢

表紙／北原 博人（内科、訪問科）

おしえて！ドクター VOL.10

通院が難しい方に「訪問診療」という選択肢

松本市を中心に中信地域で「断らない医療・関わり続ける医療」を展開する松本協立病院。第10回の「おしえて！ドクター」では、内科・訪問科の北原博人医師に、訪問診療について聞きました。

北原 博人（きたはら ひろと）

診　療　科：内科、訪問科（在宅医療診療部長）
出　身　地：飯田市
経　　歴：山形大学医学部医学科卒業
　　2017年1月より松本協立病院
加入学会：外科学会
趣　　味：ロードバイク

ひとこと　心臓血管外科医からメスを置き、内科へ転向しました。“命を見届ける医療”訪問診療を通じて高齢社会の一助となれれば幸いです。

協立病院で行う〝訪問診療〟って？

当院では現在、180名くらいの患者さんを、複数名の医師による訪問診療で診ています。通院の難しい高齢の方がほとんどで、ご自宅のほか、専属の医師や嘱託医がいない高齢者向け住まいに入居されている方も訪問しています。特に、お薬が必要な患者さんでは、医師と対面して診察を受けて処方してもらうことが重要で、そのためにも訪問診療という方法は有益です。

私は内科入院担当との兼務なのですが、人が増やせれば、訪問診療を専門にしたい希望もあります。今後10年は高齢者がどんどん増える社会。通院困難となる高齢者を、病院も含めた地域の中で、どう診ていくかということが大切になります。〝最後までどう生きるか〟を考える時に、在宅療養を行う一つのヒントになるのが訪問診療だと思っています。

訪問診療を選んだ患者さんの実例は？

元気だったが急に具合が悪くなり、当院で診察するとがんが見つかった患者さん。転移もあり余命もわずかとの診断でした。コロナ禍で入院してしまうと面会も難しくなるため、ご家族と訪問看護が力を合わせ、家で看取ることができました。「病院で過ごすよりよかった」と思っていただけたようです。

また、認知症の進んでいた方ですが、ご家族が思い切って在宅に切り替えたところ、患者さん本人にいい変化があったというケースもありました。訪問診療があるからと、ご家族も家で見る決心ができたようです。

個人的には「訪問診療でなければいけない」とは考えていませんが、患者さんが家に帰る手助けはできると思います。限りある時間をできるだけ有効に使っていただくために必要な制度ではないでしょうか。

Dr.北原のけんこうミニ講座

「訪問診療」と「往診」の違い

「訪問診療」は、医療機関と患者さんで月単位でお約束をして、毎月決められた回数、医師がご自宅などを訪ねて診察することです。予約を取って定期的に通院する予約外来に近いイメージです。

一方「往診」は、具合が悪くなった時に緊急で受診されるイメージに近く、患者さんや訪問看護師などから連絡をいただき訪問します。ただし詳しい検査や高度な治療が必要な場合は、車や救急車などで病院への受診をお願いしています。

基本的な費用
- 訪問診療料（診察料）
- 在宅での総合的医学管理
- お薬代
- 交通費

＋

必要に応じて追加される費用
- 注射・点滴
- 処置・検査料
- 緊急往診の費用
- 特別な医学管理　など

毎月の費用のイメージ（概算）　※自宅の場合

	月1回	月2回
1割負担	約3,700円	約6,300円
2割負担	約7,400円	約12,600円
3割負担	約11,100円	約18,900円

※訪問診療料と在宅での総合的な医学管理のみの概算です。
※訪問時の交通費と調剤薬局でのお薬代は別途費用がかかります。

訪問診療を受けるための要件

病院へ通院することが難しくなっている方がいらっしゃれば、当院の医療室にお気軽にご相談ください。訪問診療を行っていない医療機関からの転院のご相談も地域医療連携室でお受けしています

1 通院が困難であること

家族や介助者の助けを借りないと通院できない方や、認知症等で一人での通院が危険だったり、患者さん自身で症状を伝えることが難しい方が対象です。

2 医療機関から遠くないこと（16km以内）

当院の場合、車で片道20分程度までを基本としています。ただし患者さんが地域に複数いるなど状況によって変わりますので、まずはお問い合わせください。

松本協立病院の職場やチームをご紹介！

きょうりつの

#10 在宅医療室

待ってくれている患者さん・ご家族の思いに応えて

全員が外来との兼務。 写真左上から時計回りに：景平 翔子（かげひらしょうこ）、宮島 美穂（みやじまみほ）、百瀬 睦美（ももせむつみ）、坪田 由佳（つぼたゆか）

訪問看護やケアマネとの連携が欠かせない在宅医療・ターミナルケアの現場を担う看護師

訪問診療の医師に同行して診察の介助をするほか、訪問前日にはカルテの確認や、電話をかけて患者さんの様子を聞いたり処方箋を用意したりする、看護師5名のチーム。また、訪問看護の部署が別にあり、日常的に見ている看護師と、患者さんの状態について情報を共有しています。「訪問の順番も私たちが組んでいるんです。病院とは違う患者さんの穏やかな表情を見ると、希望どおり家に帰れてよかったと感じます」。

介護する家庭の状況はさまざまで、力が及ばないもどかしさを時には感じながらも、「ケアマネさんやデイサービスなど、いろいろな所と連携し合うことがとても大切。〝家で、最後まで〟という患者さんやご家族の気持ちに応えたいですね」。

そして月に何名かは立ち会うことになる看取りの場では、医師や看護師もつらさを抱えます。「苦しさを言葉にして和らげたり、次はどうしたらいいかを考えたりして、自分たち自身をケアすることも考えていきたいです」。また、精神科医と連携して『こころの外来』の訪問診療にも取り組みたいと、新たな展開を準備中です。

スタッフルームでもさまざまな仕事をこなしています

ちょっぴりまめ知識

備えもバッチリ“七つ道具”

訪問診療の看護師が持っていくバッグには、血圧計（予備も）、パルスオキシメータ、採血・点滴用具のほか、処方箋を書き換えた時のための医師の印鑑など、「もしも」を想定して実にいろいろなものが詰まっています！

プラス通信

松本協立病院の最新の話題をお届けします！

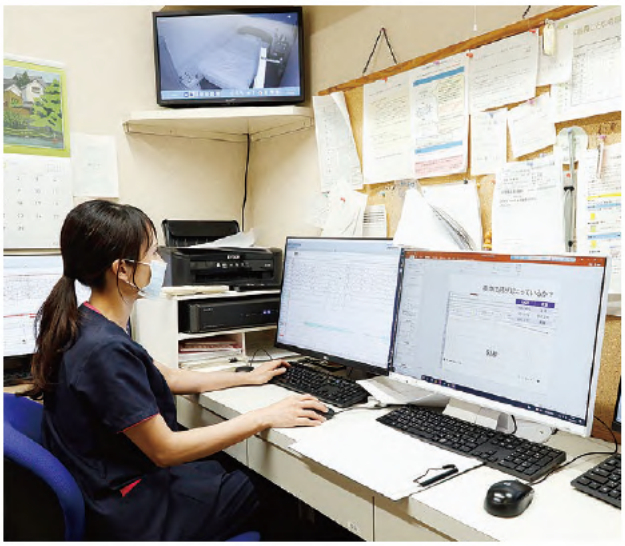
睡眠センター 検査機器を一新しました！

当院の睡眠センターは、2003年7月に検査室4床で開設し、今年で19年目になります。

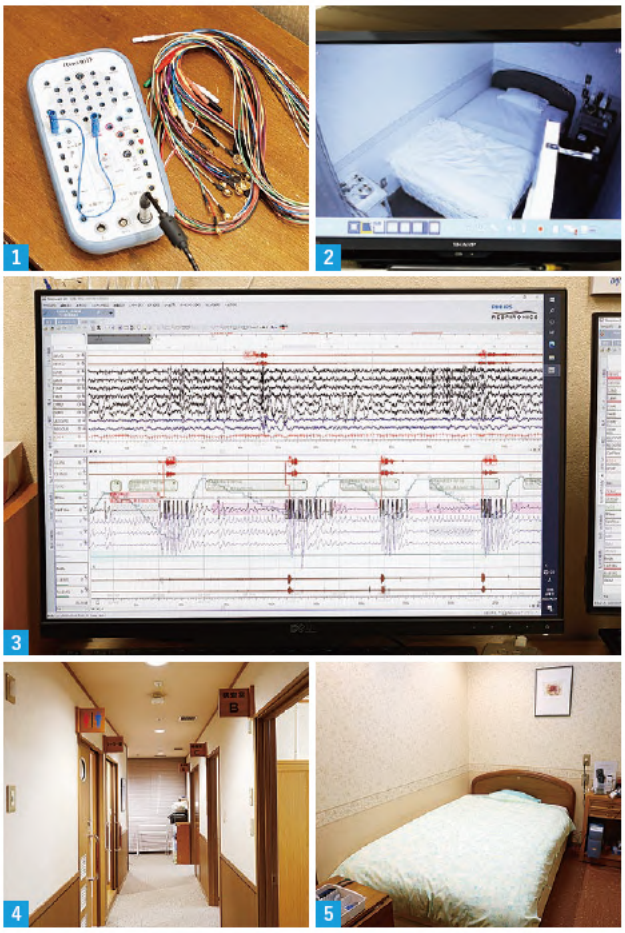
当時、山陽新幹線運転手のオーバーラン事故をきっかけに睡眠時無呼吸症候群が大きく報道され、全国的にこの疾患に注目が集まっていた中での開設でした。当初から使用してきた装置も19年目を迎えており、さらなる検査精度の向上のために、この6月に新しい検査機器に入れ換えを行いました。

睡眠時無呼吸症候群の診断、治療判定に用いる終夜睡眠ポリグラフ検査やCPAPタイトレーションはもとより、県内では実施している施設が少ない過眠症の診断目的の反復睡眠潜時検査や覚醒維持検査、むずむず脚症候群の診断目的の下肢不動化（示唆）検査なども行っています。県内でもトップレベルの睡眠検査を受けることができる設備となり、検査数も終夜睡眠ポリグラフ検査422件、CPAPタイトレーション14件、反復睡眠潜時検査28件の実績（2021年度）があり、検査技師の技術力にも自信があります。

現在、日本睡眠学会認定検査技師3名を中心とし、検査科全体で検査・運営を行っています。これからも患者さんにはリラックスした状態で検査を受けていただけるように取り組んでまいります。



新たな設備で、より詳細な検査が可能になりました



1 新しく導入した検査機器。最新の検査ルールに対応し、高解像度の記録ができるようになりました　2 カメラとモニターも刷新し、消灯した状態でも、しっかりと安全の確認が可能に　3 記録した脳波、呼吸の状態、酸素飽和度、心電図等の波形から睡眠状態の評価や無呼吸などの異常を発見し治療に繋げます　4 5 ホテルのような雰囲気でリラックスして検査に臨める空間

中信健康友の会だより

2022.JULY

健康友の会ってどんな組織？

「友の会」は1974年に（当時の呼称：協力会）、松本の地に誕生して以来、中信地域に1.7万名近い会員さんを擁する大きな組織となりました。その活動の柱は**「健康づくり・助け合い・まちづくり」**です。

健康づくりの中心は、友の会健診、健康体操、ウォーキング、医療懇談会などです。特に2009年から始まったバランスボール体操は各支部で好評となり、参加人数は年間1,000名を超えるブームとなりました。骨密度計を使っての健康チェックも行い、楽しく誰もが参加できる友の会活動の真骨頂となっています。

他にも各種ボランティア活動を始めとして、出動回数年間10,000回の顔見知り同士による通院送迎、職員も多数参加する懇親会・旅行などに取り組んでいます。

私たちの願いは**「安心して住みつづけられるまちづくり」**です。みんなの知恵と協力があれば必ず実現できる目標です。

みなさんも
中信健康友の会に
入りませんか？
詳しくは職員にお尋ねください。

中信健康友の会
〒390-0817
松本市巾上9-26 松本協立病院内
TEL 0263-32-9033

友の会ロゴマークについて　2011年制定。「友」をデザイン化。健康づくりの三つの基本「正しい姿勢」「準備体操」「リズミカル」を表現しています。

活動報告

中信健康友の会「松本連絡会 第2回定期総会」開催

5月25日（水）、松本市勤労者福祉センターにて「松本連絡会 第2回定期総会」を開催しました。昨年の第1回総会は、コロナ感染対策のため書面議決となったため、連絡会で集まっての初めての開催です。

来賓の金井忠一県知事選予定候補・両角友成県議に挨拶をいただき、元気なスタートとなりました。今年度より2年任期となる連絡会役員が決まり、湯浅健夫会長が新役員を代表して「コロナ3年目となる今年は、友の会も感染対策を徹底して、できる活動を進めていける年にしましょう」と挨拶しました。

連絡会全体の行事として、マレット大会・ウォーキング講習会も計画していきます。「コロナ禍でもできる友の会活動を模索していきましょう。困難な時ほど、友の会の出番です。みんなで健康づくりと支え合いの輪を広げていきましょう」と2022年度の連絡会活動方針を決めています。

コロナに負けるな！

「松本健康班会リーダー講習会」を再開しました。ストレッチやバランスボール講習で健康に！

協立 写真日記

2022 Summer

PHOTO DIARY

松本協立病院の
できごとを
写真でご紹介！

2022.5.18（水）

安曇公民館での地域健康講座

協立はりきゅうマッサージセンターの浅井弘道センター長が「知って納得！元気になるツボ教えます」と題してお話しました。

2022.6.13（月）

松本秀峰中等教育学校で講演

糖尿病内科の前田実穂子医師が、日々心掛けていることなどを講演。医学部医学科を目指す生徒約20名が参加しました。

2022.6.16（木）

消防避難訓練を行いました

今年度1回目の消防避難訓練に、100名を超える職員が参加しました。火災の危険性を考えて真剣に行いました。

2022.6.19（日）

民間医局レジナビフェアに参加

東京で開催された医学生対象の合同説明会。ブースには15名の学生が話を聞きに来てくれました。

2022.7.5（火）～6（水）

清水中学校2年生 職場体験

放射線科、検査科、リハビリテーション科などさまざまな医療現場を見学してもらいました。

編集後記

PLUSの編集の最終盤にきて、魔女の一撃に合いました。立つのも座るのも必死（笑）。このままではPLUSが発行できないのではないか…と不安になりましたが、とにかくベッドから動けないのですから仕方ない。PLUSどころか、仕事も間に合わないと汗をかきました。でも職場スタッフみんなに支えられていることを実感（もちろん家族にも）できました。感謝して無理せず復帰していこうと思っています。／柳 未来

おしらせ

医療費の支払いが減額・免除になる

「無料低額診療」のご案内

当院では経済的な理由で適切な治療が受けられない方々に、安心して医療を受けていただくための「無料低額診療事業」を行っています。コロナ禍で突然収入が減少した方を対象に、「対象枠」を拡大しましたので、受診を我慢されている方はご相談ください。

対象者 医療費の支払いが心配で受診を我慢されている方

対象範囲 保険適用診療費の自己負担額全額

必要書類
- 限度額適用認定証
- 収入減少が確認できるもの（離職票・給与明細など）
- 失業、事業の廃止・休業・縮小など

まずはご相談ください。0263-35-5300（平日 9:00～17:00）　※制度のご利用には基準があります。

【お詫びと訂正】

本誌、2022年4月号（34号）に掲載しました右記の記事につきまして誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。

P5.「新規着任医師紹介」内　消化器内科　石田医師の記事
（正）腹部超音波および超音波内視鏡検査
（誤）腹部超音波および超音波検査、内視鏡検査

外来診療ご案内

受付時間　8:30~16:30
診療時間　9:00~

診療に関する相談・上記時間外での救急診療
TEL. 0263-35-5300

予約・変更など（平日9:00~16:30）
TEL. 0263-35-5288

地域医療福祉連携室

受付時間　9:00~17:00

TEL 0263-35-6999
FAX 0263-35-5338

紹介のお問い合わせは、
こちらへお願いします。

健診・人間ドック

受付時間　9:00~12:00
14:00~17:00

TEL 0263-35-0479
FAX 0263-35-1766

松本協立病院

〒390-8505　松本市巾上9-26
TEL 0263-35-5333　FAX 0263-36-0370

メ　ルでのお問い合わせは、ホ　ムペ　ジのお問い合わせフォ　ムよりお願いします。

HP http://www.chushin-miniren.gr.jp

塩尻協立病院　／0263-53-5353
山形協立診療所／0263-98-3933

表紙の人

北原　博人　医師

優しい口調で話すやわらかな笑顔が印象的な北原医師。
訪問診療ではご自身でハンドルを握られます。

松本協立病院 広報誌［プラス］
第35号　2022年7月25日発行